

令和4年度 第1回関市立図書館協議会 会議録

日時 令和4年7月14日（木曜日）午後1時30分～

場所 わかくさ・プラザ学習情報館 2階2-1会議室

◆出席者

（図書館協議会委員）

樋口 緑、波多野壽美、平川貴久、河合裕子、太田尚文、鈴木幸子、藤井和敏

可児翔也 以上8名

※欠席者 櫻井純子

（事務局）

相宮定協働推進部長、中村宜信生涯学習課長、深川理代

（図書館）

長尾芳弘館長、亀山並枝館長補佐

◆傍聴者 なし

1 開会

2 協働推進部長あいさつ

図書館は、本などの情報資料を収集整理保存することで、市民の知る権利を保障し、そして学びを支えるような役割があると思いますが、それに加えてまち作りの視点からすると、大変効果的で素晴らしい公共施設だといえると思います。図書館には、日頃から子どもからお年寄り、男女問わず、本当に幅広い方が利用されるということで、非常に高い集客力とリピート率をもっています。さらに開館時間も長くて、休みも週1です。それから利用される方も目的が多様であり、かつ利用時間も多様であります。こういったことから、自治体の首長は、街作りの拠点施設として、あるいは中心市街地の活性化や駅前の活性化として、図書館を整備するということがよその自治体でも行われています。関市でも現在学習情報館の大規模改修の最中です。図書館も、多目的室の新設や、静寂室などを計画しておりますので、より多様な世代の方に利用していただいて、わかくさ・プラザの賑わいの中心施設にしたいというふうに思っています。引き続き委員の皆様にはご支援ご協力お願いしたいと思います。

3 会長あいさつ

コロナも3年目を迎えて、熱中症対策とコロナ感染予防の対策ということで、マスクの脱着

について話題になったりして、なかなか兼ね合いが難しい日常生活になってきたと思います。それでも全体としては感染予防や熱中症対策をしつつも、様々な活動が続けていくというような方向であると思います。そんな中で関市の図書館はリニューアルということで、関市の図書館も魅力がさらにアップしていくことになるかと思いますが、基本的な感染対策をしながらできることをウィズコロナの方向でやっていく形になるかと思います。今年度は開館しながら大規模工事という形になりますので、おもいきった事をやったり、思い通りの開館は難しいかもしれませんが、それでも通常業務とともに、リニューアルまでの準備期間とか、またはその橋渡しの期間であると捉えて、業務に取り組んでいただきたいと思います。ぜひリニューアル後には、リニューアルした関市の図書館の魅力を多くの人に知ってもらいたいということを思いますし、市内の小・中学校との連携や地域の分館との連携など、いろいろなあり方を探ったり、開架サービスやイベント等の視点で工夫して、より多くの人にとって利用したい図書館になっていくといいなと思います。先ほど協働推進部長さんから、賑わいの中心拠点となるようにというお話がありました。ぜひ多くの人々が、気軽に訪れて居心地よく滞在していくような、市民の素敵な居場所となっていくことが本当に望ましいと思います。そのためにこの会の協議において、様々な分野の方の視点から建設的な意見を出していただきまして、図書館運営の後押しができればとおもっていますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

4 議事

- ・樋口会長による議事進行

① 令和4年度の図書館運営について

- ・図書館長より資料に基づいて説明

5 質疑応答

【委員】とてもわくわくするような内容で期待をしている。高校生のインターンシップの話が出たが、どこの学校か。

【館長】関有知高校である。去年も来ていただいたが、とても真面目に取り組んでくれて有難い。

【委員】そこから司書をめざしてくれる子がでるような取り組みとなるとよいと思う。

【委員】電子図書を積極的に受け入れるという学校等もあって、学校でも全員がタブレットを持つ時代だが、適切な使い方等の指導が必要になると思うが。

【館長】二つ大きな問題があって、一つはコンテンツの中身と量が少ないということ。しかし

買えるコンテンツも限界があるので、これは工夫して充実させていかいといけない。
次はそれをどう活用していくかっていうこと。そのために今やっている事は、私達が学校に出向いて、使い方を教えたり、欲しいコンテンツを聞き取りしたりということ。
そこでこれは使いにくいとか、こういうものが欲しいといった事などを、電子図書館の業者に要望をしている。

【委員】分館でも電子図書館のチラシを目立つところに置いたが、登録がほとんどなかった。
今年に入って改修工事が始まったときに、お客さんでチラシあったかど登録したいという人がいた。これは図書館の宣伝の効果があったと思う。

【委員】時代とともにある図書館に地域が求めるものが変わっていきっている。私達が小さい頃の図書館は本を借りて静かに過ごす場所だったが、最近テレビで紹介されたところは寝そべって本を読む図書館とか、大声出して読む図書館などもあるらしい。今回の改修で、そういう面も一部考慮して改修されるというふうに聞いているので楽しみにしている。

【事務局】リニューアルの件ですが、これまでは図書館内では静かにという事で、学生さんや親子連れと、大人の静かに読みたい人とのニーズがマッチしてないところがあった。そこをもう少し緩やかにエリア分けをする。静寂室という全く音を立ててはいけない部屋を作ったり、一方では小声ぐらいなら相談して勉強してもいいよという場所を作ったりと、緩やかなエリア分けで、誰もが居心地よく過ごせるようにリニューアルを図っていく。庭に建てる多目的室は、今までの図書館とは別の運用をする予定で、例えば今まで図書館の中は飲み物のみで食べ物は不可だったが、多目的室に関しては飲食OKということで運用しようと考えている。今までよりいろんな人が使いやすい図書館になるように、リニューアル工事の中で努力をしていきたい。

6 閉会（生涯学習課長あいさつ）

今日は図書館の運営につきましてご審議いただきましてありがとうございます。少しリニューアル工事のことでご報告させていただきます。リニューアルですが、皆さんにもご意見をいただきながら進めてきました。工事ですが今年で2年目で、令和3年令和4年の工事ということで、3月末までには完成する見込みです。図書館内については、10月、11月の2ヶ月を休館として工事をするという運びでありますので楽しみにしていただけたらと思います。多目的室については、3月末に完成の予定です。今後は多目的室の運用面で、皆さんのご意見もいただきながら、どう活用していくのか、どう運用していくのかということを調整していきたいと考えておりますので、また引き続き

ご協力をいただきますことをお願い申し上げます、終わりとさせていただきます。